

## 経営規模にかかわらず、収入減少の備えに

これまでは、果樹共済の災害収入方式へ加入していましたが、NOS AIの担当者から「収入保険を強くお勧めします」と聞き、令和2年に移行しました。

栽培のやり方として、温州ミカンのうち青島温州は2年に1度、実をならし、他の品種の裏年に収穫することで、収入が下がらないようにしています。その青島温州が昨年イノシシの被害を受け、2ト以上収量が減ってしまいました。また、枝も折られたので、翌年の収入にも影響します。規模は大きくないですが、やはり減収になると困るため、収入保険で補てんしてもらい、とても助かります。また、青色申告もしていたので良かったです。

▷かんきつ100㍻(レモン50㍻、温州ミカン40㍻、不知火10㍻)

(2021年 9月)



呉市豊町 里本 善孝さん (67歳)